

パナソニックの現場で培った データドリブン組織への道
～"最適な仕組みの確立" と "分析文化の醸成"～

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

PX

Panasonic
Transformation



パナソニック(の製品) と言えば...

- 暮らしが便利になる
- 丈夫で長持ちする
- 時代が変わっても普遍的に使える

パナソニックISのデータ分析も 同様の価値を提供します。

(ダッシュボードやAIプログラムそのものだけでなく)

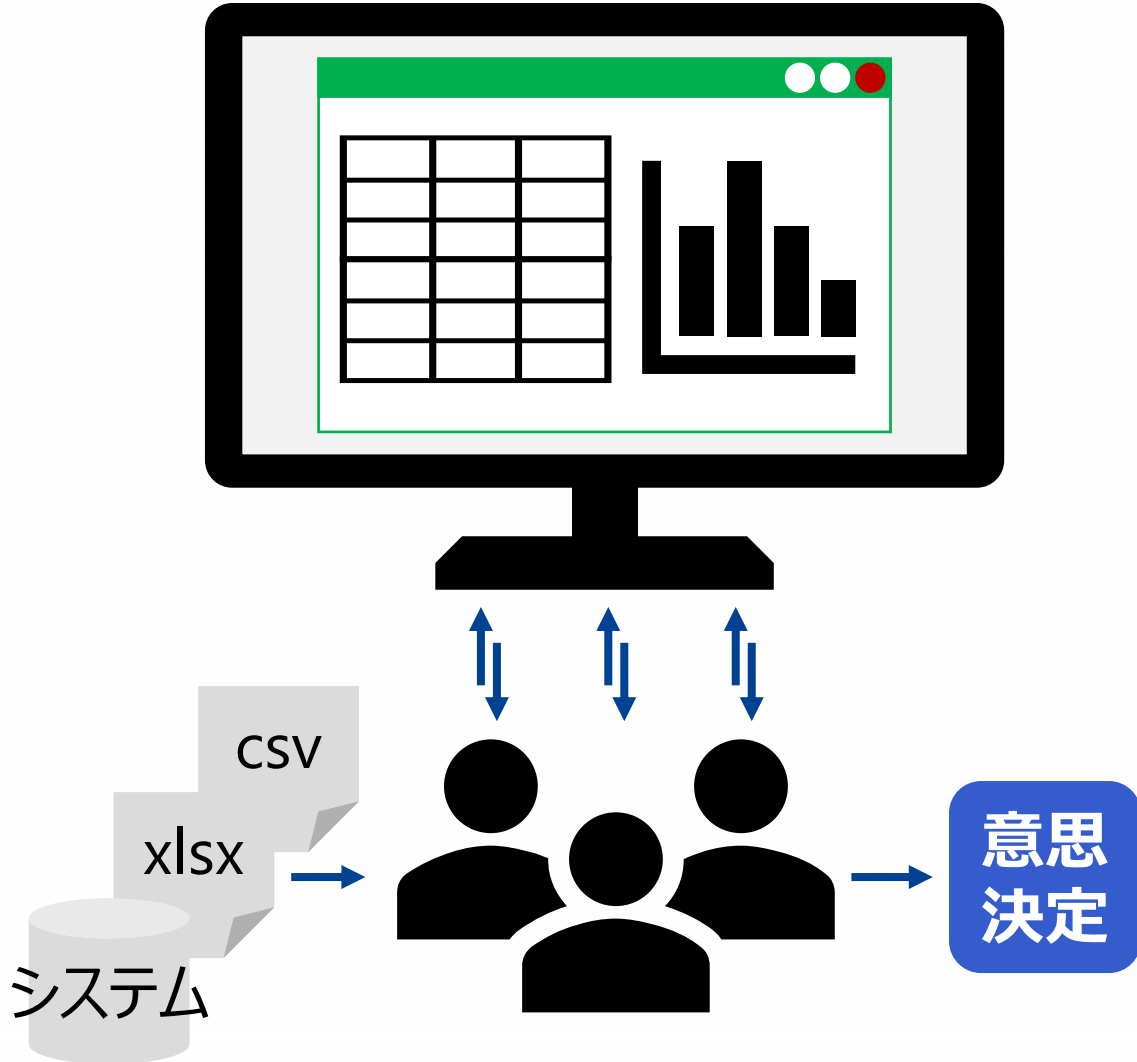
データ分析文化

データを使って自分たちでビジネス・業務を変えていく「データドリブン組織」への第一歩。

- データ分析文化の醸成・定着に向けた手段として、BIダッシュボード作成・AI予測による業務プロセス改善を図ります。
- 現場に合ったツールで、パナソニックグループ内で培った知見で、現場に合わせて構築していきます。
- モノを作って導入するだけでなく、ツールや分析自体のスキル向上トレーニングなども実施することで、データ分析文化の定着度を高めます。



データドリブンな組織イメージ



“データドリブンな組織”のイメージは左図のような状態

「各職場の**担当者レベル**では実施している」という組織は **多い**。

一方、「**職場全体**がこの状態に昇華できている」という組織は **多くない**。

進め方が分からない、ツールが定着しない、など...

本日は、私たちパナソニックISが

- パナソニックグループで直面した課題
- データドリブンな組織に変えるために何を考え、課題をどう乗り越えてきたのか

のエッセンスをご紹介します。

パナソニックグループの目指す「変革」と 我々の役割

お客様サービス DX

デジタル技術を活用して
「暮らし」と「しごと」にお役立ちをご提供
幸せの、チカラに。

事業オペレーション DX

ITの变革

オペレーティング・モデルの变革

カルチャーの变革

デジタルと人の力で
「暮らし」と「しごと」を
幸せにする。

PX

Panasonic
Transformation

パナソニックグループは、「全社員が、当たり前」にデータ活用」する組織へ

会社：パナソニック インフォメーションシステムズ[IS]

パナソニックグループのIT中核企業として ビジネス要件の理解～IT構築～運用まで担う

部門：データ&アナリティクスソリューション本部

“データ&アナリティクスソリューション”のワンストップ提供で パナソニックグループの**データ活用**の高度化を支える



データドリブン経営の加速

右図：パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社[<https://panasonic.co.jp/is-c/>]

左図：データサイエンティストのミッション、スキルセット、定義、スキルレベルを発表 (一般財団法人データサイエンティスト協会) [<http://www.datascientist.or.jp/news/2014/pdf/1210.pdf>]を元に弊社で作成

経営・マネジメント・現場の各層で
意思決定を迅速化

従来のデータ活用



✓ 専門家による分析

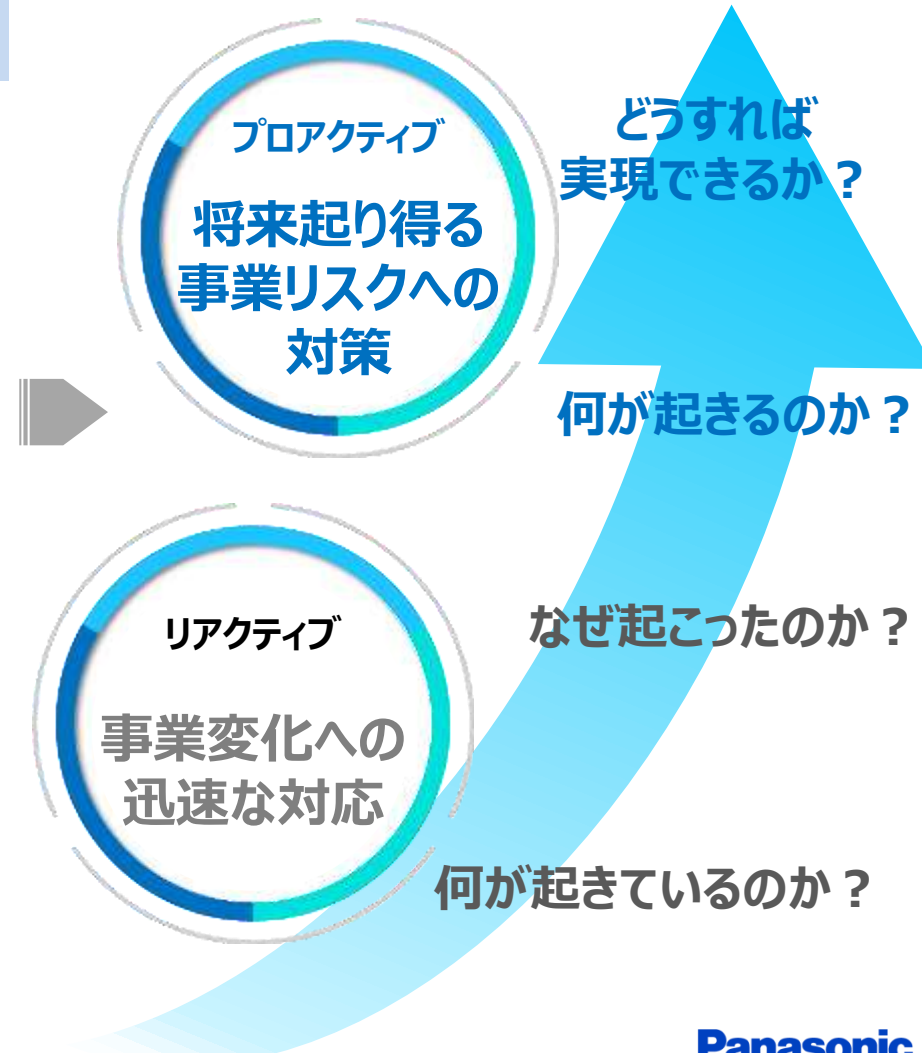
✓ 限定的なデータ活用

あるべきデータ活用



✓ 現場による分析
(「事業理解」に基づく「データ分析」)

✓ 常時データを活用
(「分析」と「意思決定」の一体化)



事業現場をデータドリブン組織に変えるため **徹底的に寄り添い伴走する**
画一的なツール導入だけでなく **データ民主化(最適なIT環境整備) & 分析文化の醸成**まで担う

初期フェーズ

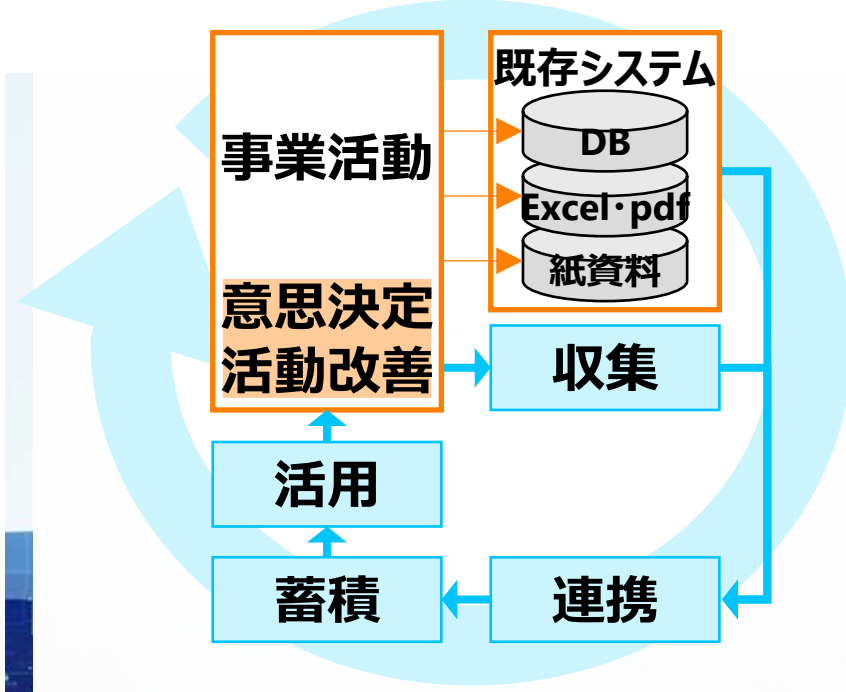
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた **ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次に**フィードバック**。
- 持続可能な成長への**エンジン**。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材による**データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく**マインドを醸成**。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える



※便宜上フェーズで区切っていますが、実際には同時並行で推進します。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

ビジネスアナリシス と データの収集

KEY POINT

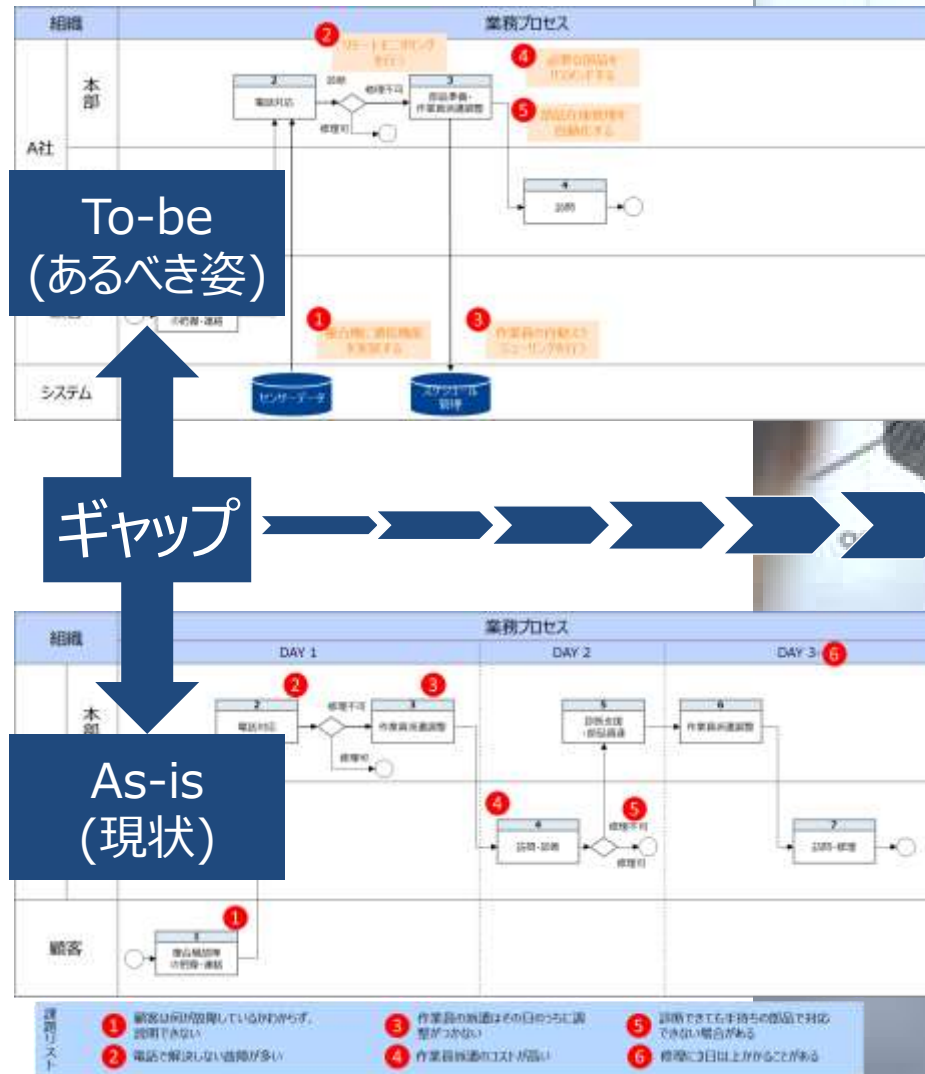
鍵

現状把握が不足していると 不要な仕組みやシステムの導入に繋がってしまう
 まず最初に お客様に適したデータ活用サイクル実現に向けた**ロードマップ**を描くことが重要
 これが **データドリブン組織への設計図** となる

初期フェーズ
 ・ビジネスアナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 ・トレーニング

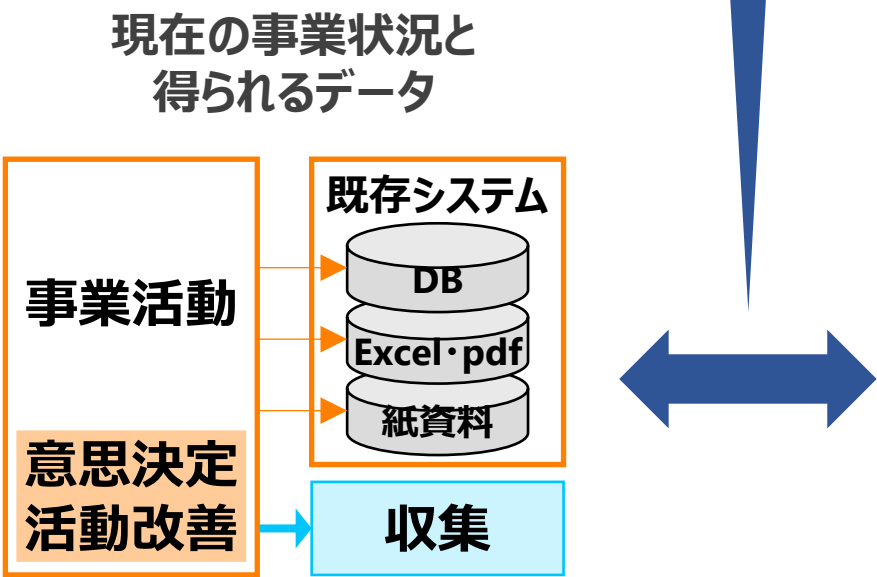


| 原因ID | 根本原因 | 取組ID | 取組 | 取組概要 |
|------|----------------------------|------|-------------------|---|
| 001 | 機械に通信機能がない | 001 | 自動モニタリング・予知保全の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ● 複合機に通信機能を実装し、センサーデータを収集・蓄積・分析する ● 異常を探知し、アラートを発する ● 蓄積したデータで予知保全を実施する |
| 002 | リモートで機械をモニタリングする機能がない | 002 | 必要な修理の特定・適切な部品の選択 | <ul style="list-style-type: none"> ● センサーデータから故障診断を行う ● 修理に伴う適切な部品をレコメンドする |
| 003 | 自動診断機能がない/精緻化されていない | 003 | 部品在庫の最適化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 部品データを蓄積し、在庫数を最適化する ● 部品の利用に応じて自動的に調達する |
| 006 | 作業員の扱いが適切でないため、待遇を上げざるを得ない | 004 | 作業員のスケジュール最適化・自動化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 作業員、車両、訪問先データを連携し、スケジュールの最適化、自動化をする ● 修理作業の時間を見積り、無理・無駄のないスケジュールを組む |
| 007 | 修理実績データが生かされていない | 005 | 消耗品自動発送 | <ul style="list-style-type: none"> ● 消耗品をモニタリングする ● 自動で消耗品を顧客に発送する ● 消耗品データから在庫を最適化する |
| 008 | 部品インベントリを自動化していない | | | |

施策検討

施策実現に向けて**既存データでは足りない要素がある**
 現場の動線や機器の状況など **実態を把握できていない**

- 初期フェーズ**
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ**
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ**
 - ・データ活用
 - ・トレーニング



あるべき姿に向けた施策案

| 原因ID | 根本原因 | 取組ID | 取組 | 取組概要 |
|------|---------------------------|------|--|--|
| 001 | 機械に通信機能がない | 001 | 自動モニタリング・予知保全の実施 ² ₆ | <ul style="list-style-type: none"> ● 複合機に通信機能を実装し、センサーデータを収集・蓄積・分析する ¹ ● 異常を探知し、アラートを挙げる ● 蓄積したデータで予知保全を実施する |
| 002 | リモートで機械をモニタリングする機能がない | 002 | 必要な修理の特定・適切な部品の選択 | <ul style="list-style-type: none"> ● センサーデータから故障診断を行う ⁴ ● 修理に伴う適切な部品をレコメンドする |
| 003 | 自動診断機能がない/精緻化されていない | 003 | 部品在庫の最適化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 部品データを蓄積し、在庫数を最適化する ⁵ ● 部品の利用に応じて自動的に調達する |
| 006 | 作業員の抱負が大きい/ため、待遇を上げざるを得ない | 004 | 作業員のスケジュール最適化・自動化 ³ | <ul style="list-style-type: none"> ● 作業員、車両、訪問先データを連携し、スケジュールの最適化、自動化をする ³ ● 修理作業の時間を詳細に見積り、無理・無駄のないスケジュールを組む |
| 007 | 修理実績データが生かされていない | 005 | 消耗品自動発送 | <ul style="list-style-type: none"> ● 消耗品をモニタリングする ● 自動で消耗品を顧客に発送する ● 消耗品データから在庫を最適化する |
| 008 | 部品インベントリを自動化していない | | | |

事業現場の**“ラストワンマイル”**データを収集したい

KEY POINT

鍵

機器稼働データや作業者の動きなどの **現場データ**も集める
事業活動に関する**データの不足**を解消する



IoTプラットフォーム

- IoTプラットフォームで、現場の様々な情報をノーコード・ワンストップで収集。
- 収集データを各種サービスと連携することで 様々な情報の可視化・分析が可能。
- メッセージ通知や様々な機器の動作実行により **人に気づきを与える**ことも可能。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

用途・業務に合わせた2製品をラインナップ


CUMULOCITY

- “**プロフェッショナル**”に使用できるIoTプラットフォーム。
- 製造現場**での使用に最適。
- PLCからのデータ取得などにも対応し、データ収集頻度や項目数も**業務に合わせて細かく設定**可能。

 Gravio

- “**ライト**”に使用できるIoTプラットフォーム。
- 施設**や**流通・小売店舗**などでの使用に最適。
- 貸与センサーも充実しており、**リーズナブルな価格**から**クイック**にご利用可能。

必要なハードウェア・ソフトウェア・クラウド環境などを**一括提供**
センサーも豊富なので **アイデア次第**で様々なデータを収集・活用可能

※ 下記は、Gravioセンサーラインナップ 一例



所定の場所にあるcsvなども自動収集可

他社デバイスも接続可

工場機器・PLCデータも収集可

業務に有効か？ 実機で評価・検証できるので **気軽に試せる**
導入時のセットアップ支援やアフターフォローの体制も完備



IoTプラットフォーム スモールスタート

Cumulocity

- パナソニックISが構築したCumulocityプラットフォームをご提供。
- 必要なものが揃っているIoTパッケージを短期間で検証・導入可能。

Gravio

- 事前検証用キットを3週間、**無償提供**。
 - IoTゲートウェイ：1台
(Gravio Hub / Windows PC)
 - ネットワークカメラ：1台
 - センサー表示機器：**10種類**



コンサル/SI支援

- 国内海外800万台のIoT接続実績と、IoT基盤の開発・運用経験を有するSEが、コンサル支援、SI支援を提供。
- IoTプラットフォーム導入に関する仮説検証～要件定義～本番導入まで、トータルサポート。



アフターフォロー

- 本番導入後も、専門知識を有するSEが手厚くサポート。
- パナソニックグループで業務システムを継続的に運用するSEが、アフターフォローを提供。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

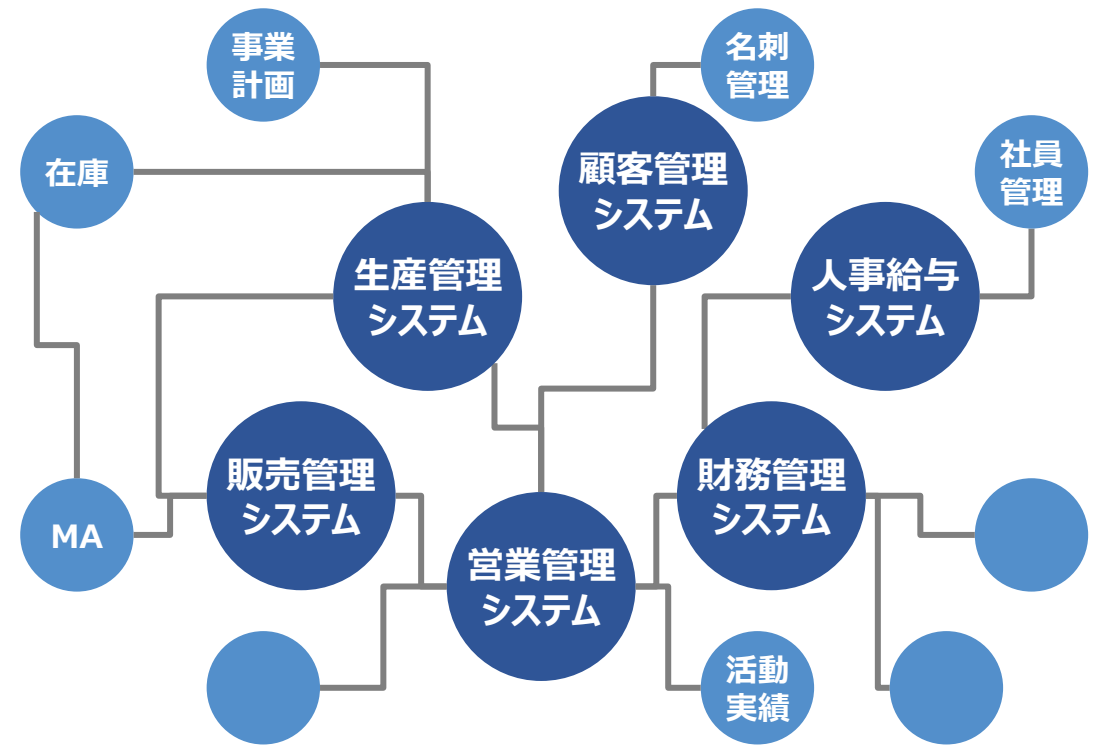
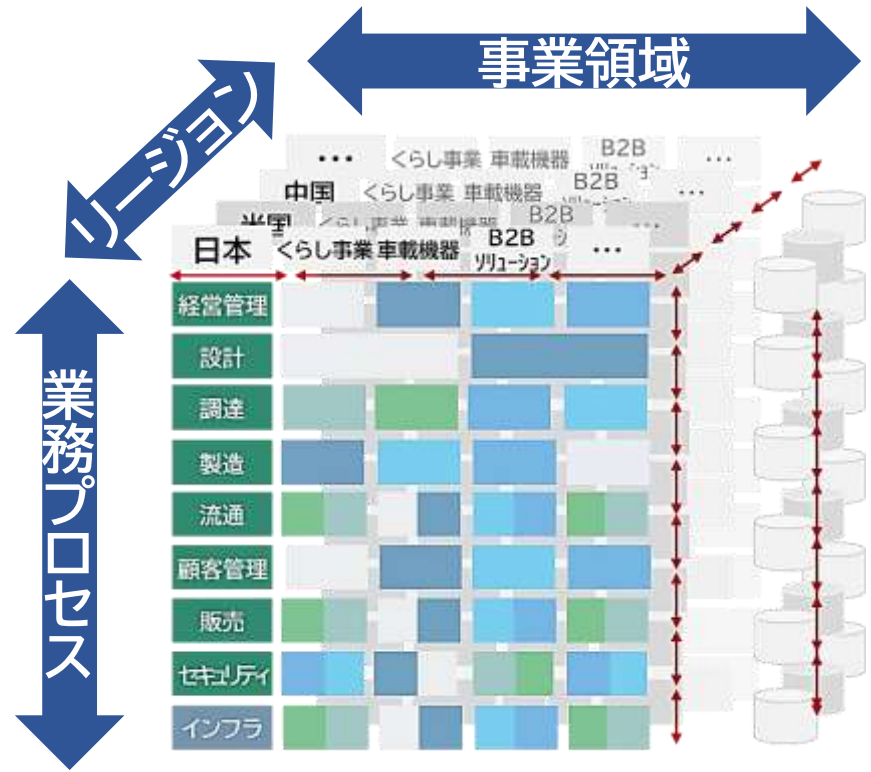
データの連携 と 蓄積



グループ全体のITは複雑化しがち…

ITの乱立と同時に、属人化・サイロ化が進みがち…

- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用
 - ・トレーニング



この資料のデータの出所はどこ？ / どのシステムが最新？ → **データに振り回されて現場は混乱！**
 源泉アプリデータの**一元管理**により「**正確かつ高鮮度なデータ**」の提供がポイント

KEY POINT

鍵

EAIによる一元管理によって シンプルなデータ管理が可能
データの抜け漏れ防止や障害発生時のリカバリーも容易に



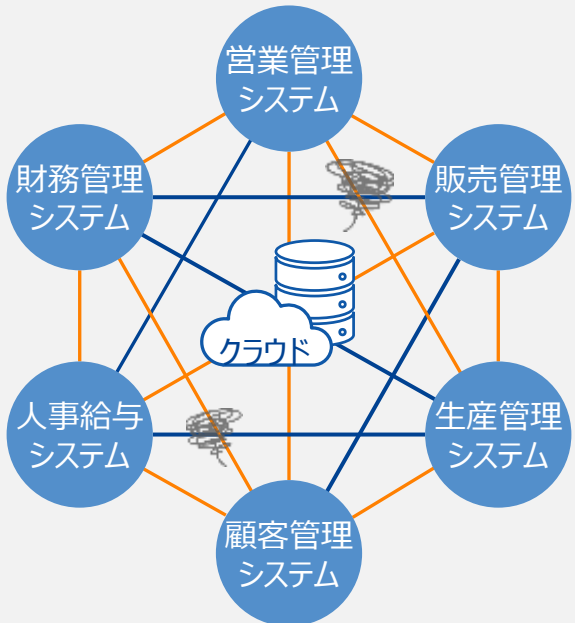
様々なシステムやサービスとの連携をノーコードで実施できる
業務の効率化やデータの活用を実現するデータ連携ツール

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

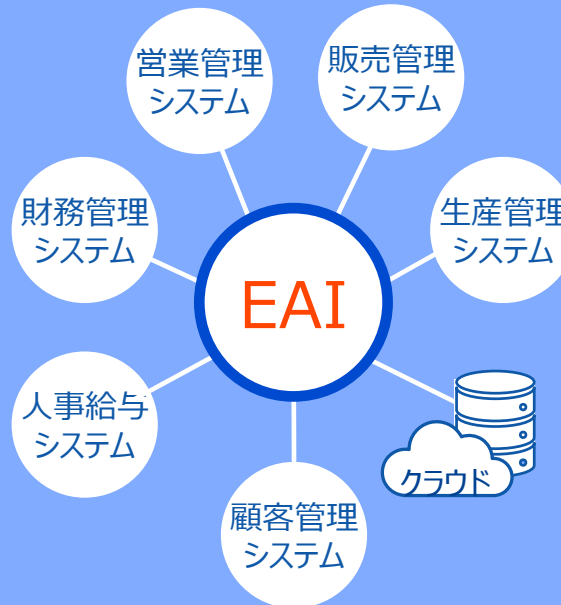
中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

いままでは
連携インターフェースを個別開発で対応



システム間の違いを全て吸収し
インターフェースの一元化を実現



EAI :

Enterprise Application
Integration

企業内の様々なシステムをデータを
連携させることでアプリケーションの
統合を行うこと

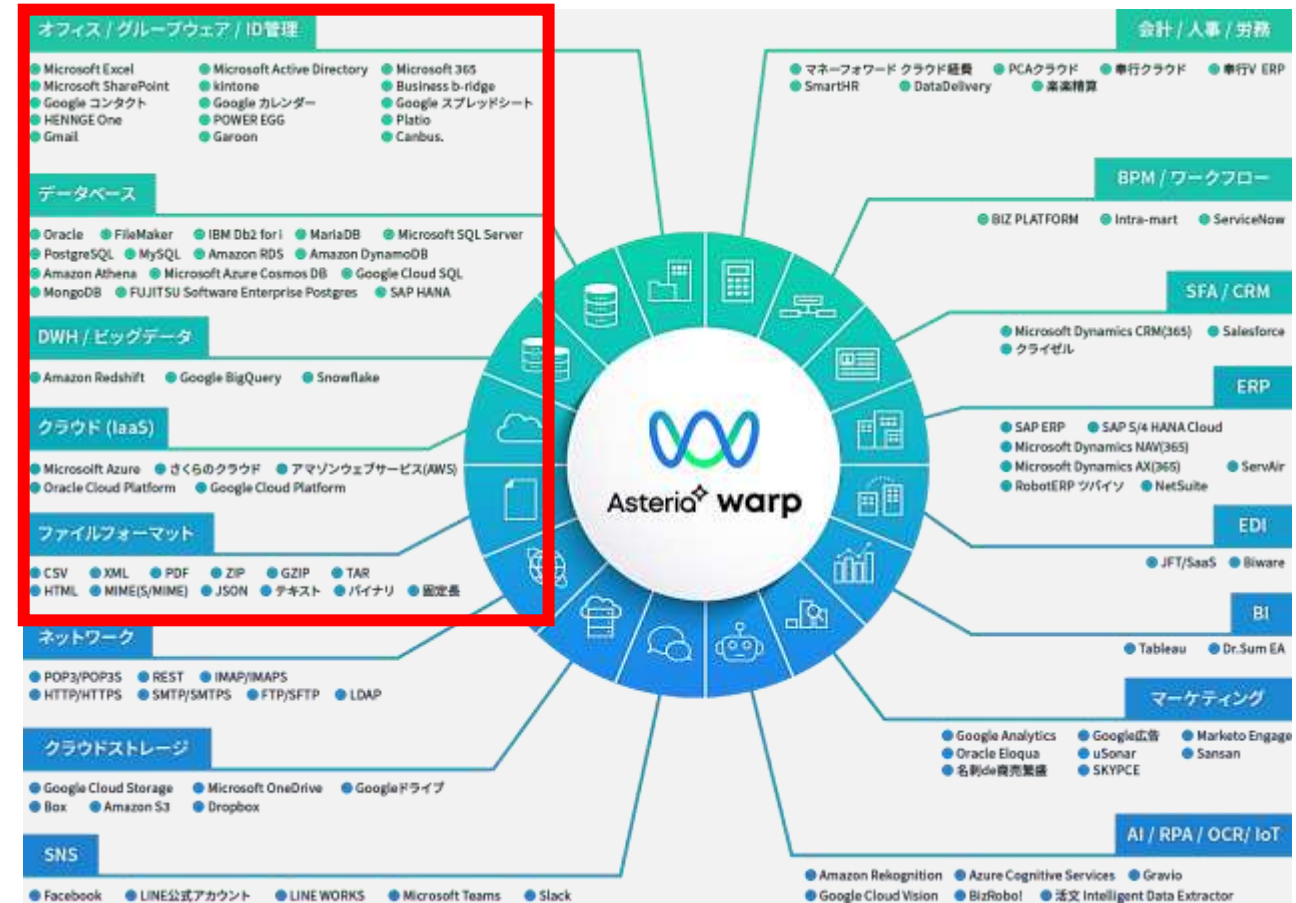
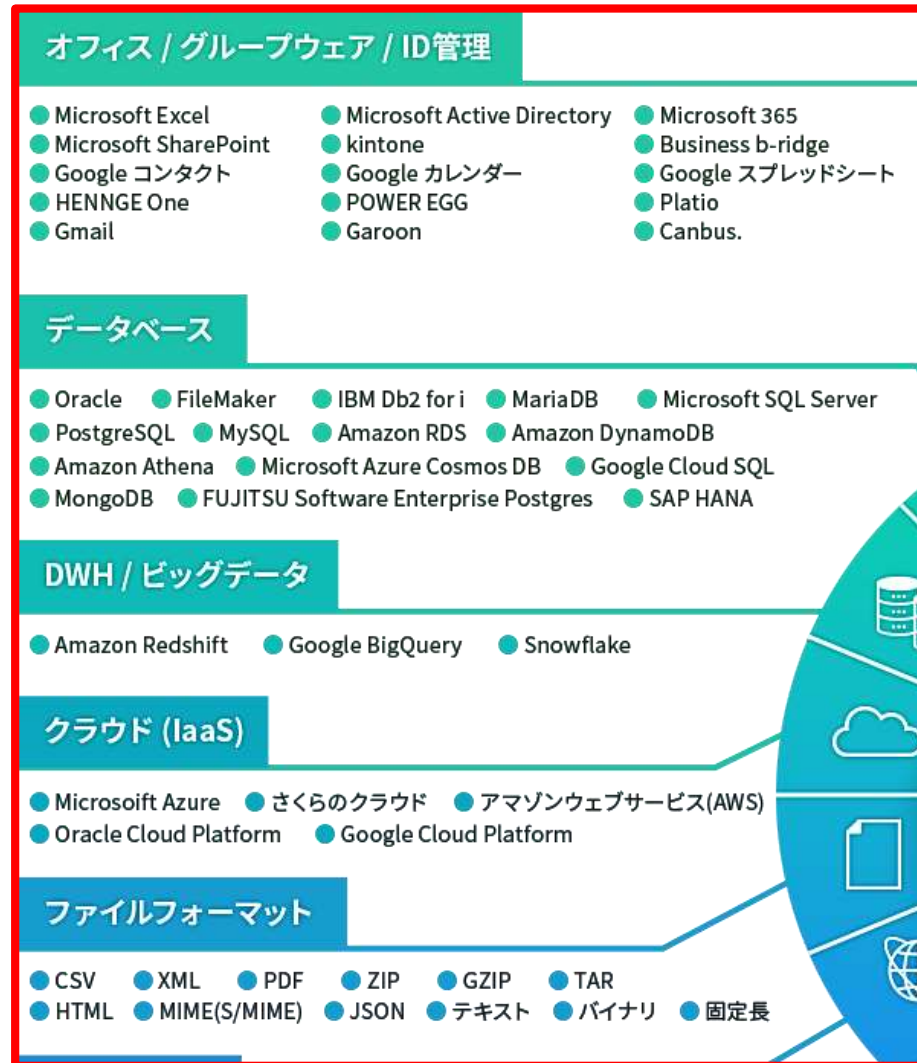
100種類を超える多くのインターフェース・データ・システム・サービスに対応

※オプション含む

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



ASTERIA Warpマスターパートナーとしてのコネクションを活かしたお困りごとの解決へ

弊社からのご導入企業様の一例 (500社超)

ASTERIA Warpマスターパートナーの内

ASTERIA Warp 販売実績 **No.1**

FY23実績

- 日本貨物鉄道様
- オリックス不動産様
- アートグリーン様
- トップラン・フォームズ様
- 朝日インテック様
- ナイス様
- アネスト岩田様
- プロトコーポレーション様
- 浅沼組様
- ブレインパット様
- 東京農業大学様
- 古野電気様
- etc.

ASTERIA Warp Partner Award



アステリア株式会社
代表取締役社長/CEO
平野 洋一郎 氏

パナソニックIS(株) 代表取締役社長
阿部 裕

- ◆ **Partner of the Year 受賞**
2015年・2016年・2019年・2023年
- ◆ **Excellent Partner 受賞**
2013年・2020年・2021年・2024年・2025年
- ◆ **Project Award 受賞**
2020年・2021年・2025年

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

KEY POINT

鍵

手当たり次第に集められたデータは信頼性が低い
 「少なくともここにあるデータは正しい」を保証することで安心して使える



様々な源泉アプリデータを一元管理し、高品質・高鮮度なデータを各事業現場へ。

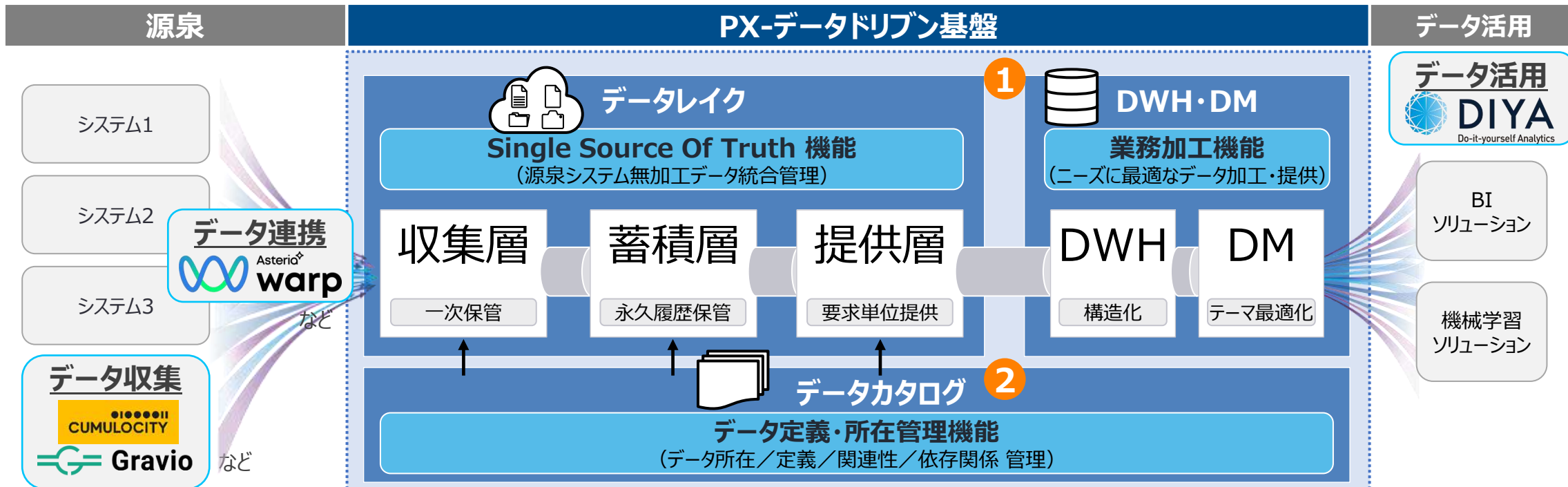
- 提供価値：
- 1 SSOTの原則に沿った データレイク・DWH・DM
 - 2 データカタログによる 論理統合

初期フェーズ
 ・ビジネス
 アナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング

PX-データドリブン基盤の構成



※データドリブン基盤は、パナソニックグループ内展開時のサービス名称です。
 ※ご依頼時は、貴社環境への構築/各ツールベンダーのSaaSサービスを組み合わせたの提供となります。

SSOTの原則のもと
「唯一正しいデータ」を
 一つの基盤に集約

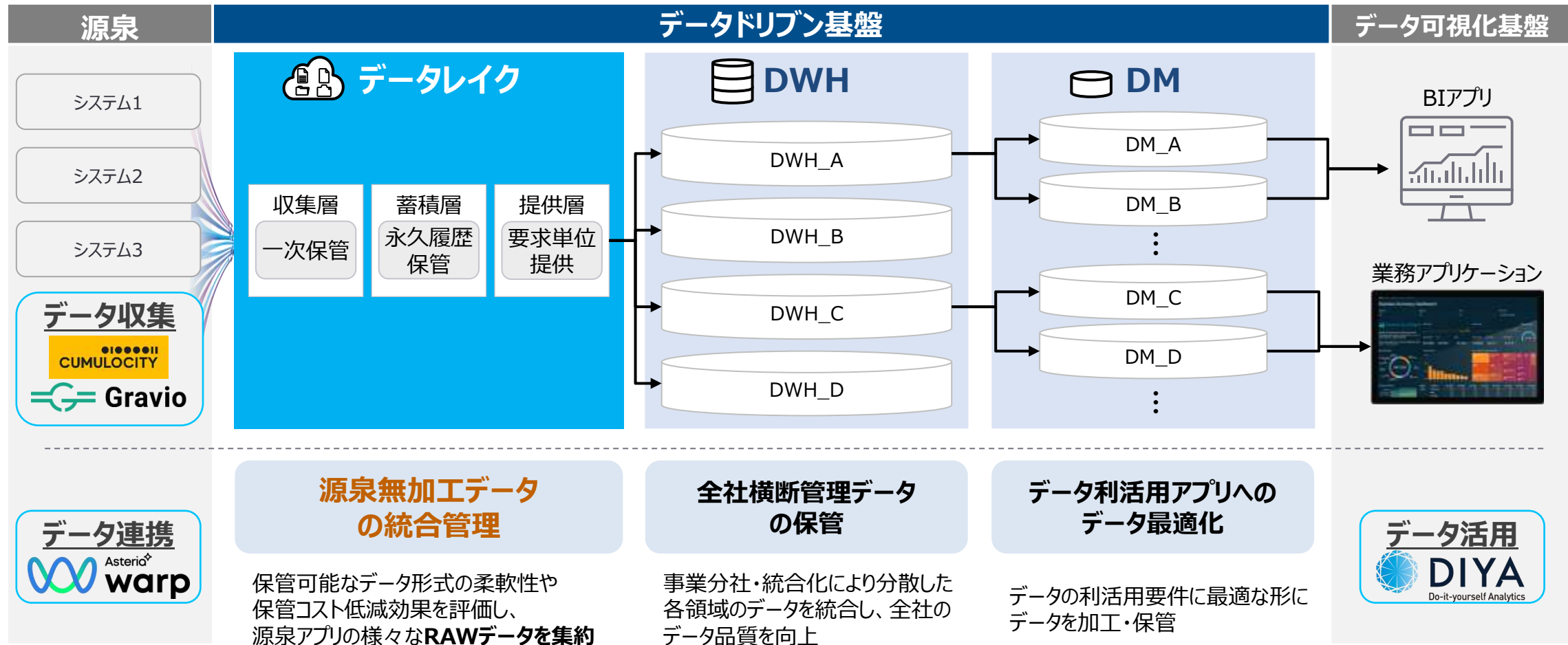
SSOT : Single Source of Truth(信頼できる唯一の情報源)

信頼できるただ1つのソースを確立することで、情報の一貫性と正確性を確保し、組織内の全員が同じデータに基づいてビジネスの意思決定を行うことを保証するために使用される概念。

初期フェーズ
 ・ビジネス
 アナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング



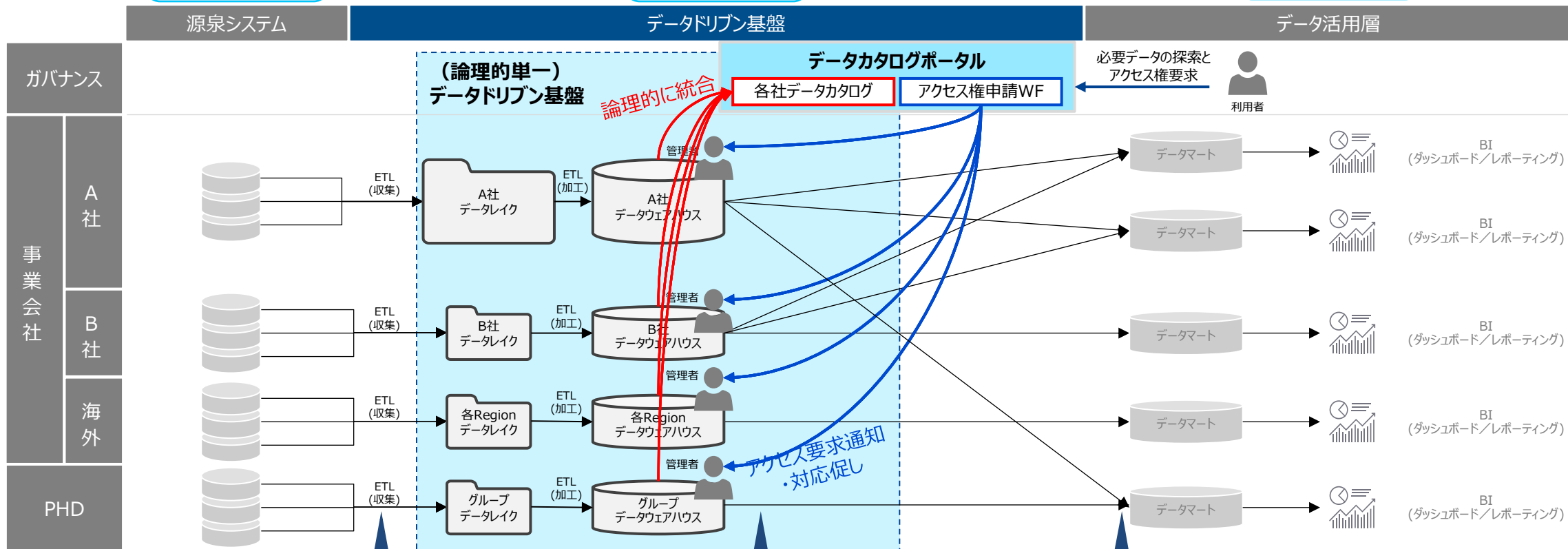
無理に一つの環境に統合はせず **データカタログ**で基盤とデータを論理的に統合
データのガバナンスを効かせる体制・プロセスを検討



初期フェーズ
 ・ビジネスアナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング



各社ごとに管理すべき領域を決定し、SSOTの原則のもと、各社基盤で管理

データカタログおよびガバナンスルールに沿って、組織横断で論理的にデータ管理

適切なアクセス権管理に基づき、各基盤のデータは必要に応じてお互いに参照可能

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

データの活用 と トレーニング

どのデータからどのように意思決定したかが不明瞭な場合 **分析自体の信頼性を損なう**
 「何をすべきか」「どうやって実現するか」の見極め・実装には**スキル**が必要

データサイエンティストに求められるスキルセット*



- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用
 - ・トレーニング

| スキルセット | 不足している現場では… |
|---|--|
| ビジネスアナリシス 改革プロジェクトへ参画し、現状のビジネスや業務における 課題形成と解決案抽出 を支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務に不必要な分析が増える ・ 欲しい結果が最短ルートで得られない |
| データアナリシス 分析の目的に即したデータ項目の調査や加工を行い、 可視化 や 高度分析モデル を提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 現場では使いにくい視点の数値が増える ・ 結果が理に適った数値なのか分からない |
| データエンジニアリング アナリシス活動で導いた 分析モデルを仕組み化 し、運用しやすいプラットフォームとして提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネス要件の変更に追従できない ・ 改良も難しいので放置・陳腐化していく |

3つのスキルを持ち合わせた **分析を「作る」人員**を最初から現場に求めるのは困難
 まず現場では **分析を「使う」ことにフォーカス** してほしい

* 一般財団法人データサイエンティスト協会「データサイエンティストの ミッション、スキルセット、定義、スキルレベルを公表」 [http://www.datascientist.or.jp/news/2014/pdf/1210.pdf]を元に弊社で作成

KEY POINT

鍵

透明性のある意思決定のため、正しいデータを正しく使う必要がある
迅速に・あらゆる切り口で・何度も繰り返して分析できる環境の整備が不可欠



DIYA
Do-it-yourself Analytics

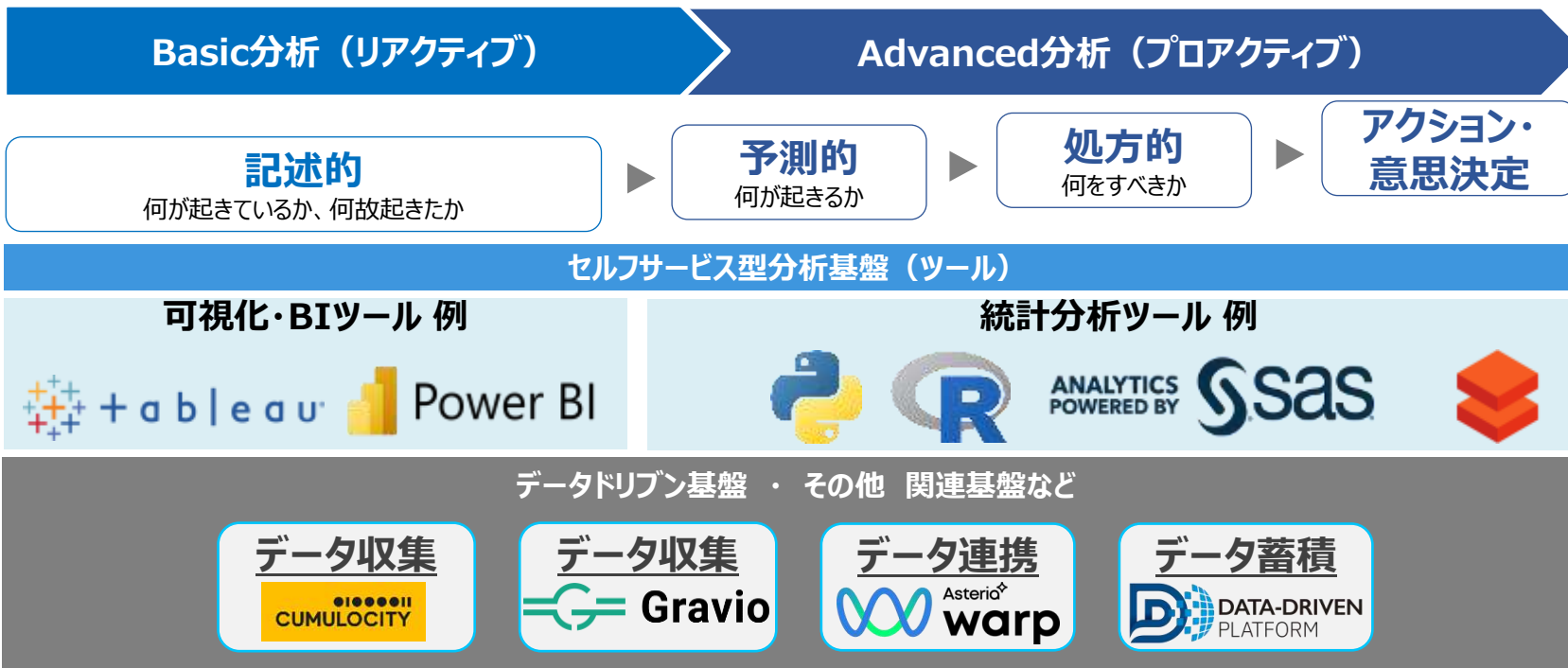
データ分析プラットフォームの構築だけでなくデータアナリストによる分析支援で、データ利活用の現場定着をサポート

➤ 提供価値： ① テクノロジー ② ナレッジ&サポート

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



各事業の現場で
データドリブン経営
の加速へ

② データアナリスト
によるサポート

分析技術サポート

分析テンプレート

教育サービス

※DIYAは、パナソニックグループ内展開時のサービス名称です。※記載の各ツールはパナソニックグループでの一例です。
※ご依頼時は、貴社環境への構築/各ツールベンダーのSaaSサービスを組み合わせでの提供となります。






ポイント①：業界標準ツールから最先端技術まで、テクノロジーを活用 26

変化の激しい時代のニーズに合わせて **ツールを適切に使いこなす** 必要がある
 各メンバーは お客様の要望に応えられるよう **日々ツールや分析手法の学習** を重ねている

初期フェーズ
 ・ビジネス
 アナリシス

中期フェーズ
 ・データ収集
 ・データ連携
 ・データ蓄積
 ・データ活用

最終フェーズ
 ・データ活用
 トレーニング

| 領域・データ例 | データ収集 | データ加工・可視化 | 分析・モデリング AI活用 | ITで仕組化 |
|--|--|---|--|--|
|  業務システムデータ ・販売データ ・見積もりデータ ・受注データ etc. | 社内システム販売データ、 外部販売データ活用 社内業務システム、 ECサイト販売データ | 目的に応じ、データ整理 取捨選択・追加・可視化 Tableau・PowerBI Python・SQL | 統計分析・機械学習・AI活用 Python SAS Viya Salesforce CRM Analytics | 高速検索・ITダッシュボード ・プロセス自動化・ML Ops Azure/AWS クラウド Tableau・PowerBI ASTERIA Warp |
|  SNS・ブログ ・X (旧Twitter) ・Facebook ・Web Blog ・Eコマースサイト etc. | グローバルリアルタイム データ収集ツール 独自収集ツールマクロ Sprinklr Quintly 他 | 独自辞書で広告ノイズ除去  各項目タグ付け | テキストマイニング・ ポジネガ分析 Sprinklr | 商品企画用/ マーケティング用 サマリ化 見える化エンジン |
|  Webアナリティクス オープンデータ ・Webアクセスログ ・気象データ ・政府・統計局 ・地理データ etc. | オープンデータ情報源MAP 統計局・気象庁 MaxMind | 大量・多様なログを 統合・クレンジング Microsoft Azure・AWS Databricks Snowflake | 流入元分析 Geographic分析 Google Analytics | BIダッシュボード提供 ・プロセス自動化・ML Ops PowerBI Tableau Power Platform Databricks |
|  機器ログ ・製造センサーログ ・機器ログ etc. | クラウドITインフラ/ツール 目利き Microsoft Azure AWS | 統計・機械学習・AI活用 Python Databricks | 統計・機械学習・AI活用 Python Databricks | BIダッシュボード提供 ・プロセス自動化・ML Ops PowerBI Tableau Power Platform Databricks |

ポイント②：あらゆる業務領域の知見をカバー

10年以上／延べ100部門以上と連携し培った **豊富な分析テンプレート・ナレッジ** を保有

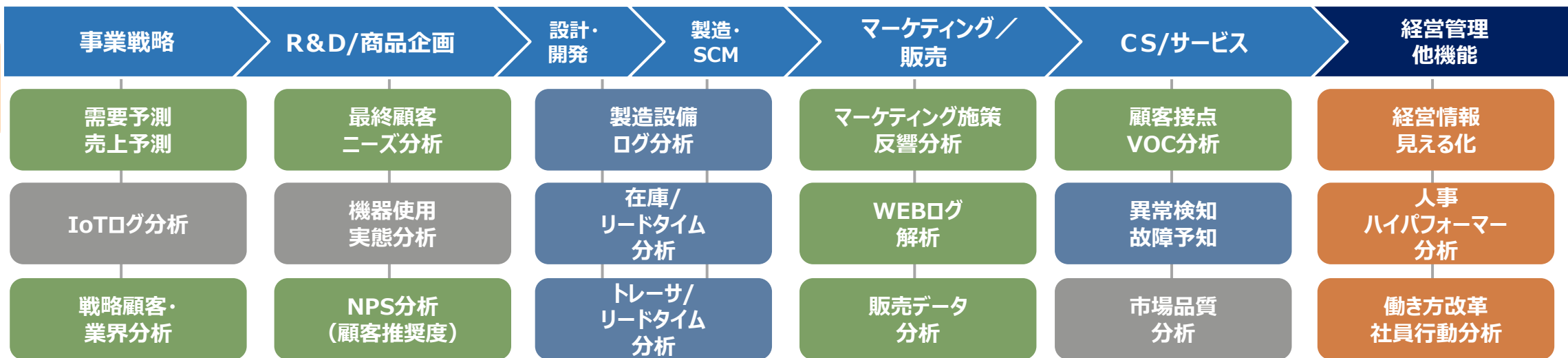
| 10テンプレート 200事例 | 10テンプレート 100事例 | 7テンプレート 20事例 | 5テンプレート 10事例 |
|--------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| <p>経営管理</p> <p>経営指標の可視化・分析</p> | <p>マーケティング・セールス</p> <p>Web・メディア分析</p> | <p>製造・SCM</p> <p>工場・設備稼働分析 (品質解析・異常検知)</p> | <p>カスタマーサポート</p> <p>機器ログ・問い合わせ履歴分析</p> |

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積

・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



KEY POINT

鍵

貴社ご担当者への**分析自走化**を進めることで
「いつも現場に定着しない」「分析視点が古いまま放置される」を克服

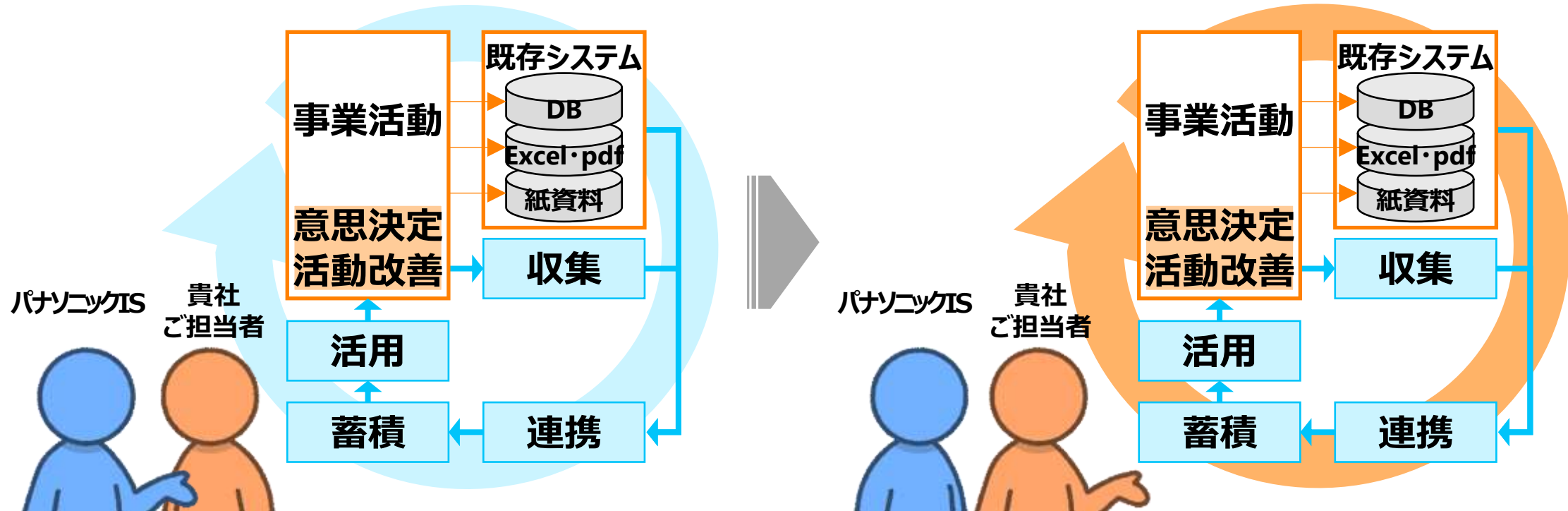
スタートはパナソニックISが伴走

徐々に貴社ご担当者へシフト

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



日々の活用や軽微な分析改善は貴社ご担当者で対応しパナソニックISはより技術的なサポートに注力
分析が「分かる」人材を貴社に増やしていくことで**分析文化の醸成**に繋げていく。

自社内人材の分析スキル・リテラシーの向上によって **事業活動の改善が加速**
「自分達で改善していく」文化を醸成していく

例：データ分析ツール研修 を通じた体系的な学び

PowerBI 初級講座 の例

1日目（3時間）

0. 導入

- **データ活用・可視化の重要性**
- BIツールとPowerBIの位置づけ
- Power BI概要
- **活用事例紹介**

1. データ取込と可視化

- ローカルデータの取込
- リレーション
- 基本的な可視化

2. データ加工（基本）

- PowerQueryデータ加工
- クイックメジャー

など

単なるツールの使い方だけでなく、
可視化の重要性やグラフの目的も講義

企業が持つデータが膨大になるにつれて、「データ可視化」の重要性は増えています。数値データよりも可視化されたグラフから直感的にデータを示す意味を理解するほうが簡単だからです。



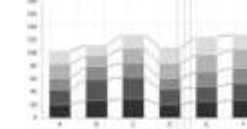
・何が言いたいのか、というメッセージに応じて、適切なチャートを選ぶため、頻出する典型的なグラフの形を学ぶ。

棒グラフ



- 量の大小を比較できる
- 時系列の推移も表せる

積み上げ棒グラフ



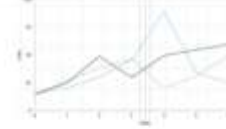
- 構成量を比較できる
- 時系列の推移も表せる

円グラフ



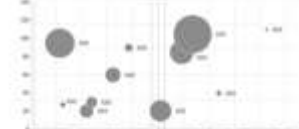
- 全体に対する各項目の構成割合を示す

折れ線グラフ



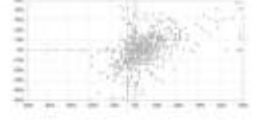
- 主に時系列の推移を示すのに用いる
- 項目間の関連も表せる

バブルチャート



- 3つの軸を利用した比較・分類が可能

散布図



- 全体の中でのある点の位置づけを表現できる
- 縦軸変数と横軸変数の関連を示せる

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

パナソニックグループ内事例に基づいた 活用アイデア

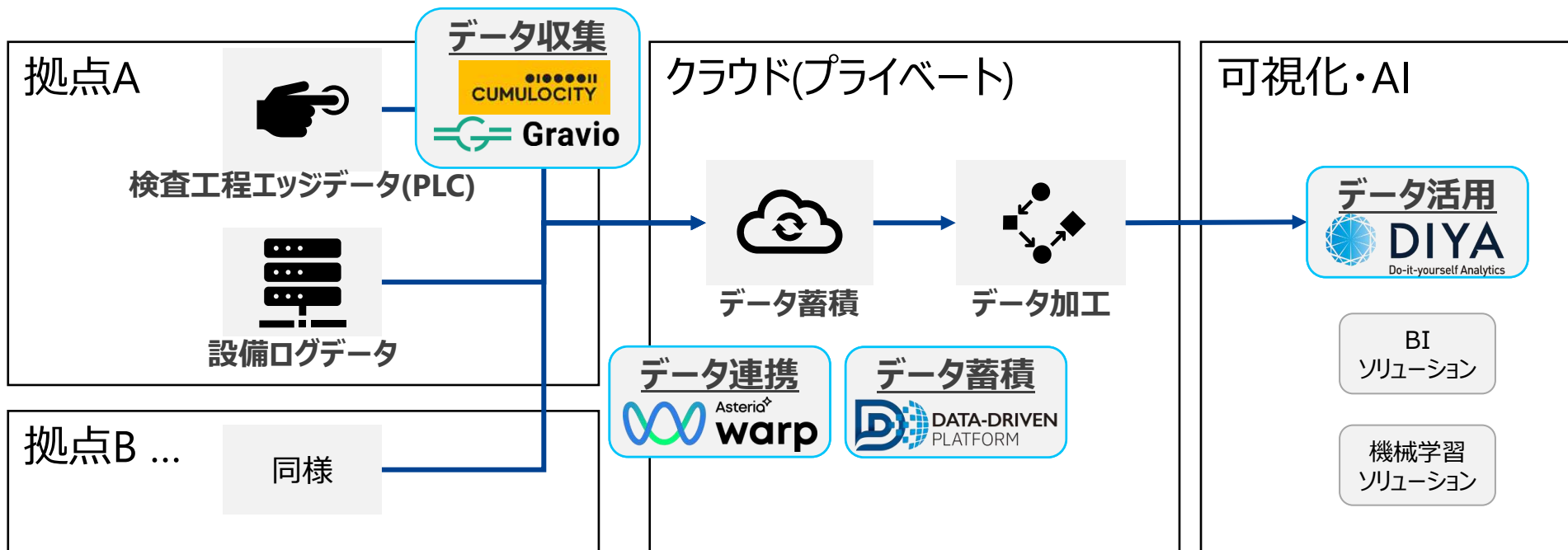
工場設備データを分析し 異常要因の特定・業務改善が可能な状態へ

提供
サービス

エッジデータ収集+データ蓄積+BI可視化で、各工程のKPIをモニタリングできる環境を構築。
KPI良化達成に向けた現場テーマ活動(例:ライン切替ロス低減)など、データを活用した成果
刈り取りまで伴走支援。

顧客社内イントラ環境

クラウド環境



アーキテクチャ
概要

KPI確認

経営会議・検
定型ダッシュ



非定型
アドホック



※実際の複数案件および各種紹介資料を元に構成。各ポイント間のファイアウォールやProxyは図から省略。

工場設備データを分析し 異常要因の特定・業務改善が可能な状態へ

提供
サービス

エッジデータ収集+データ蓄積+BI可視化で、各工程のKPIをモニタリングできる環境を構築。
KPI良化達成に向けた現場テーマ活動(例:ライン切替ロス低減)など、データを活用した成果
刈り取りまで伴走支援。

クラウド環境

可視化・AI

データ活用
DIYA
Do-it-yourself Analytics

BI
ソリューション

機械学習
ソリューション

KPI確認

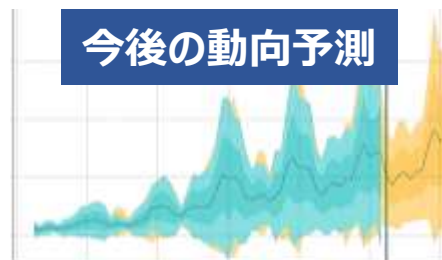
経営会議・検討会用
定型ダッシュボード



非定型
アドホック分析



今後の動向予測



異常検知



現場に伴走(イメージ)



アーキテクチャ
概要

※実際の複数案件および各種紹介資料を元に構成。

販売データを予測し 適正なPSIコントロールに繋げる

提供
サービス

販売(≒需要)データを用い、先数ヶ月分の需要を算出することで、欠品や販売機会損失のリスクを軽減する。

クラウド環境

可視化・AI

データ活用

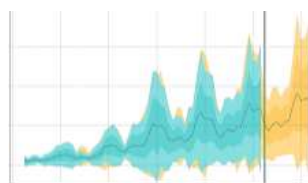


DIYA

Do-it-yourself Analytics

機械学習
ソリューション

今後の動向予測



シナリオ：とある季節商品のPSI予測をする。

- 冬ごろに販売のピークを迎える製品について、毎月の販売金額を記録している。
- 近年は振れ幅が大きくなる傾向があり、生産不足や欠品などで売上機会を逃がしたこともあった。
- 生産計画数を適正化したい！ 次の需要のピークは「いつ」「どれくらいの数量」だろうか…。



この先の動き次第で
意思決定を変えたい

アーキテクチャ
概要

販売データを分析し 適正なPSIコントロールに繋げる

提供
サービス

販売(≒需要)データを用い、先数ヶ月分の需要を算出することで、欠品や販売機会損失のリスクを軽減する。

クラウド環境

可視化・AI

データ活用

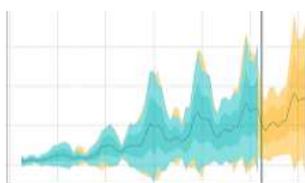


DIYA

Do-it-yourself Analytics

機械学習
ソリューション

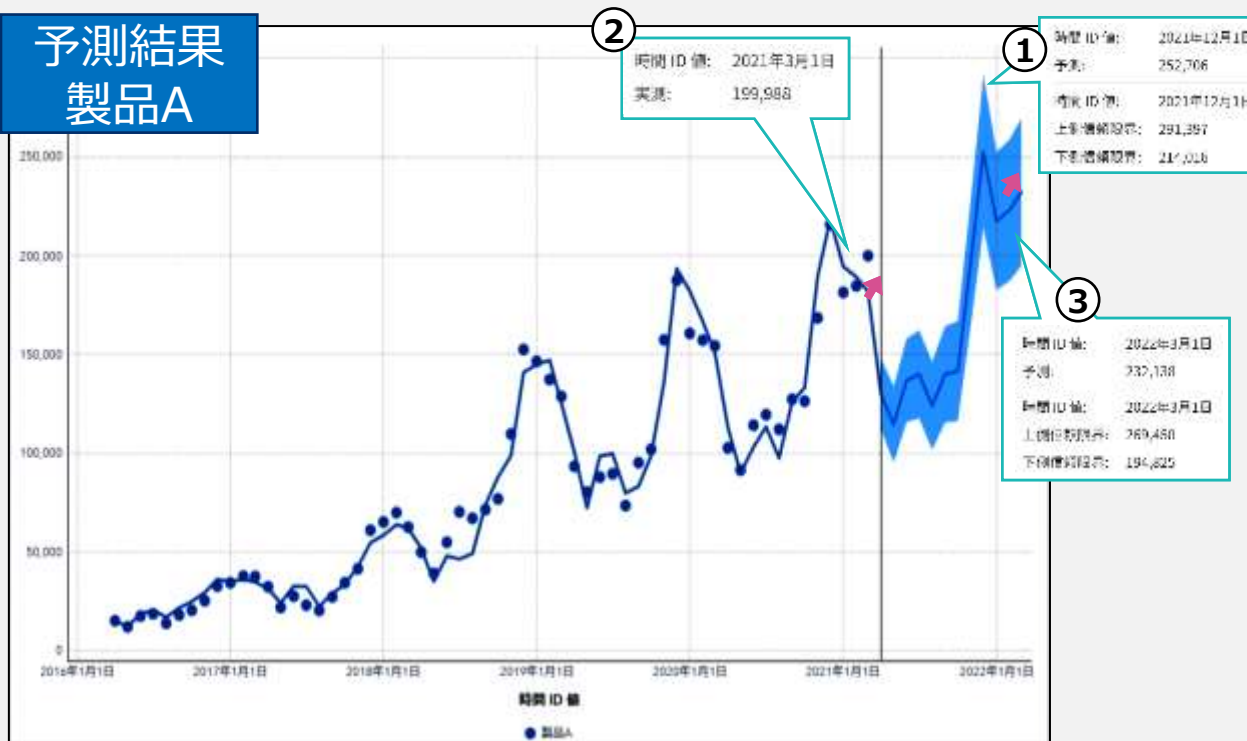
今後の動向予測



シナリオ：とある季節商品のPSI予測をする。

- 予測結果をすぐに得ることで、より多くの時間を考察・アクション検討に充てることができる。
- 予測値を鵜呑みにせず、実務メンバー主体の結果解釈が重要。(伴走支援も可能)

予測結果
製品A



考察例：

- ①：来年度のピークは例年どおり12月で、21万～29万くらいの規模となりそうだ。**この数字を元に生産計画を調整**しよう。
- ②：過去傾向や予測は下向きだが、実績は上向き▲になっている。この**予測の外れは、新しい販促の結果だと考えられる**。
- ③：来年同月には同様の販促で、予測と同じ上向きの結果▲が期待できそうだ。



アーキテクチャ
概要

※実際の複数案件および各種紹介資料を元に構成。

まとめ：
データドリブン組織実現に向けたデータ民主化の鍵



鍵①：業務ニーズを見極め 適切なデータ活用サイクルの構築と 並行してデータ活用人材の育成を進める

鍵②：豊富な**技術・経験・ノウハウ**を有し **成果が出るまで徹底的に伴走する****専門家集団**と**タッグを組む**

初期フェーズ

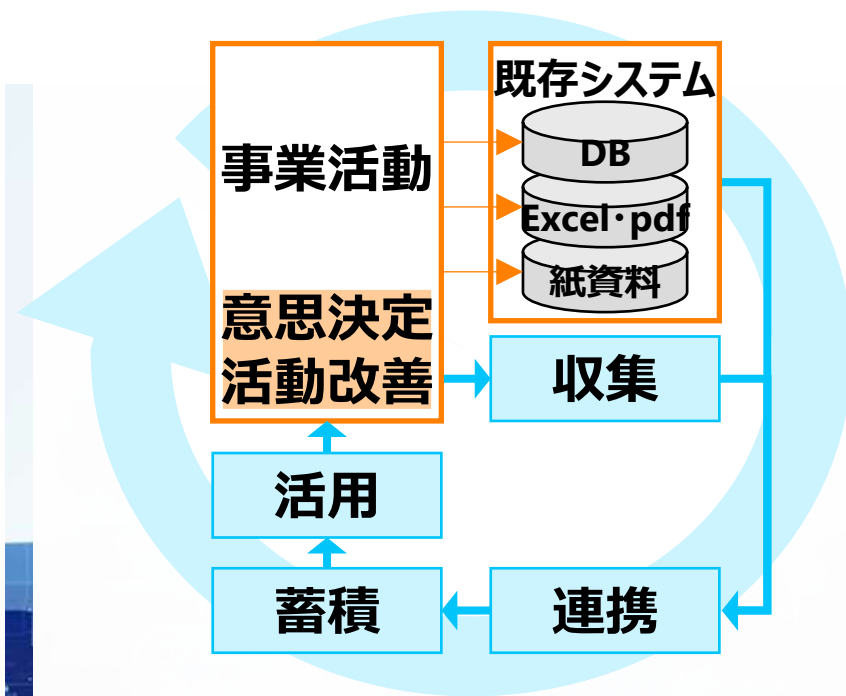
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた**ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次に**フィードバック**。
- 持続可能な成長への**エンジン**。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材による**データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく**マインドを醸成**。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

マインド醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える



※便宜上フェーズで区切っていますが、実際には同時並行で推進します。

パナソニック インフォメーションシステムズについて

パナソニックインフォメーションシステムズのご紹介

一般市場向けビジネス

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供



データ統合・活用

クラウド連携
システム統合
企業間取引
データ戦略

働き方改革

テレワーク
RPA
勤務管理
クラウドストレージ

施設空間

チケットティング
POS
会員管理
データ分析

基幹業務

製造業務
販売業務
CRM
文書管理

製造現場支援

製造IoT
映像監視
フィールド業務支援
業務モバイルアプリ

文教・自治体

PC教室管理
BYOD
教員用端末
教務支援



パナソニック インフォメーションシステムズについて



パナソニックのITを 長年支えてきた実績

パナソニックグループのIT戦略企業として、グループ企業のIT化、DXを長年支援しており、製造業の業務理解とDX推進に自信があります



多様な業種への ソリューション導入実績

製造業だけでなく、自治体・学校や施設空間など様々な業種のお客様へ長年ソリューションを提供しており、伴走力に定評があります



ITインフラからAIまで あらゆるソリューション提供

企業様のITインフラからアプリケーション導入、AIを活用したソリューションの提供や従業員用端末まで、ありとあらゆる領域でお客様に貢献

データ分析ソリューションについてもっと詳しく知りたい方へ

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ

